

[省令第8条の4の6（1,000トン以上排出事業者用）]
様式第2号の9（第8条の4の6関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
(宛先) 長野市長 荻原健司 殿		令和7年6月23日	
		提出者 住 所 長野市若穂川田1457-1 氏 名 新光電気工業株式会社 若穂工場 若穂工場長 安原 貴昭 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 (026) 282-4441	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	新光電気工業株式会社 若穂工場		
事業場の所在地	長野市若穂川田1457-1		
事業の種類	中分類 (28) 電子部品・デバイス・電子回路製造業 小分類 (289) その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月～令和7年3月		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	353,151.10t	全処理委託量	400.10t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	989.00t	優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	351,762.00t	認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画実施状況（産業廃棄物の実績の量）

		目標値	産業廃棄物の種類（実績値）											合 計
			廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	汚泥(上・下水、建設、その	廃油	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	木くず				
排 出 量	①	353,151.10t	313,248.90t	51,584.10t	388.00t	76.50t	5.10t	269.80t	10.50t	3.10t				365,586.00t
自ら直接再生利用した量	②	989.00t			85.60t			264.60t						350.20t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③													
自ら中間処理した量	④	351,762.00t	312,699.20t	51,478.30t										364,177.50t
④のうち熱回収を行った量	⑤													
自ら中間処理したのちの残さ量	⑥													
自ら中間処理により減量した量	⑦	351,762.00t	312,699.20t	51,478.30t										364,177.50t
自ら中間処理したのち再生利用した量	⑧		482.30t	105.80t										588.10t
②+⑧自ら再生利用を行った量		989.00t	482.30t	105.80t	85.60t			264.60t						938.30t
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑨													
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量														
直接及び自ら中間処理したのちの処理委託量	⑩	400.10t	67.40t	0.00t	302.40t	76.50t	5.10t	5.20t	10.50t	3.10t				470.20t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪													
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫													
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬													
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者	⑭													

※ 記入に当たっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第3面備考の4を参照してください。

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

廃酸

)

不要物等発生量

有 償 物 量

排 出 量

① 313, 248. 90t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④ 312, 699. 20t

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 482. 30t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

⑭

項 目

実 績 値

①排 出 量

313, 248. 90t

②+⑧自ら再生利用を行った量

482. 30t

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

312, 699. 20t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入
処分を行った量

⑩全処理委託量

67. 40t

⑪優良認定処理業者への処理委託量

⑫再生利用業者への処理委託量

⑬熱回収認定業者への処理委託量

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を
行う業者への処理委託量自ら中間処理により
減量した量

⑦ 312, 699. 20t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 67. 40t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

廃アルカリ

)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 51,584.10t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④ 51,478.30t

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理により
減量した量

⑦ 51,478.30t

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 105.80t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 0.00t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

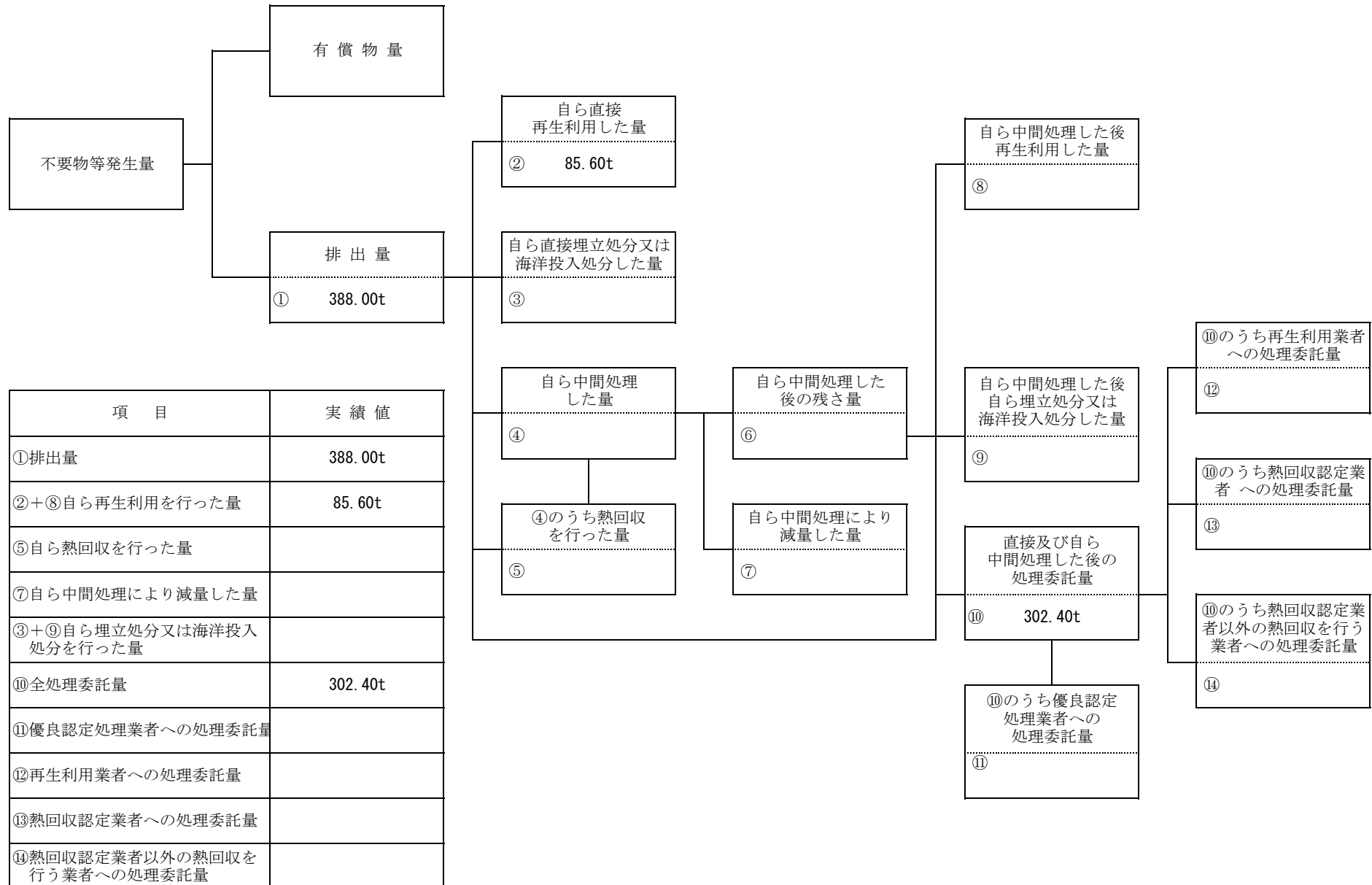
⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

⑭

項 目	実 績 値
①排出量	51,584.10t
②+⑧自ら再生利用を行った量	105.80t
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	51,478.30t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.00t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	

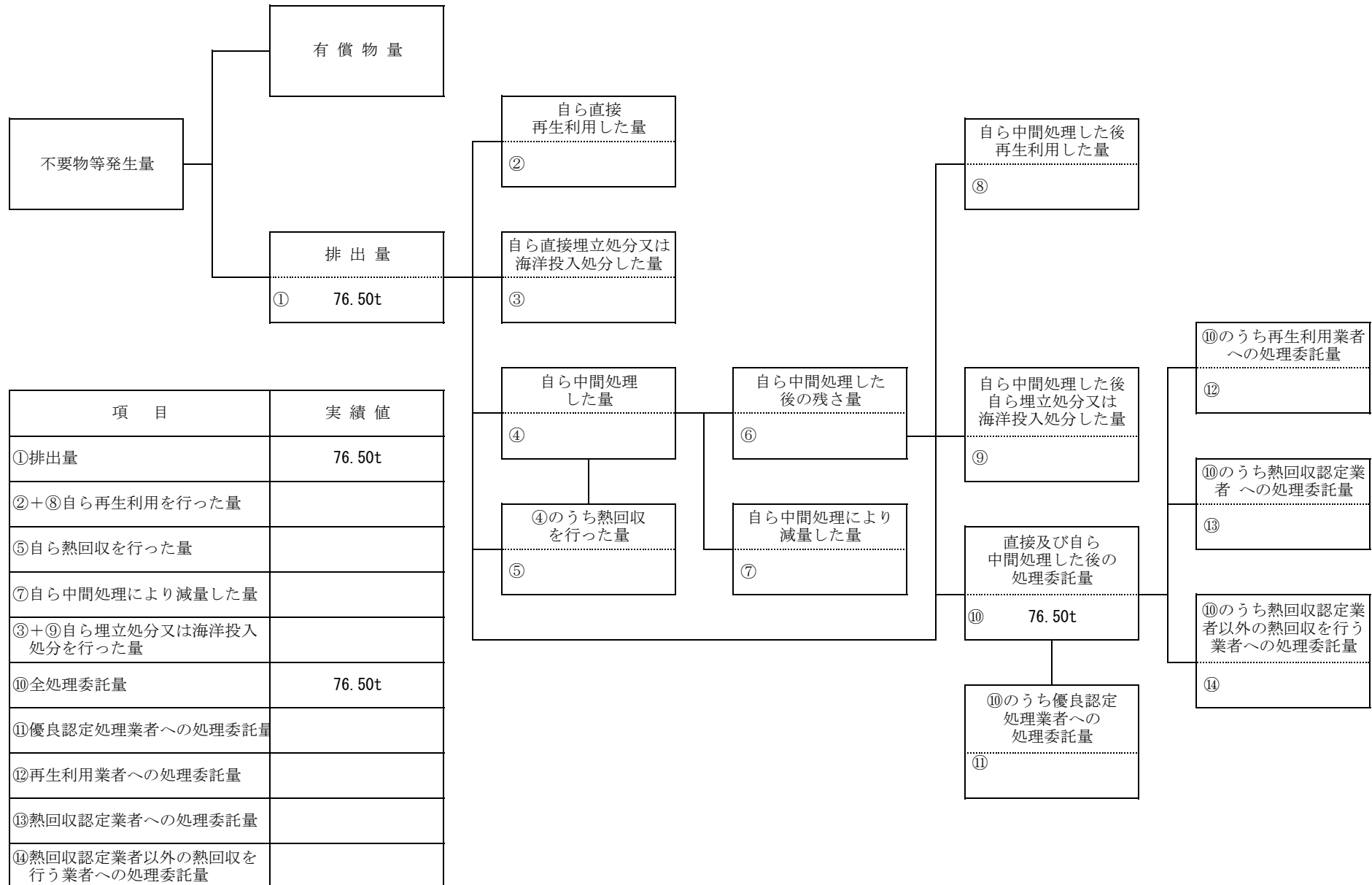
計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む))



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 汚泥(上・下水、建設、その他))



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

廃油

)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 5.10t

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理
した量

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理により
減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 5.10t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業
者 への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

⑭

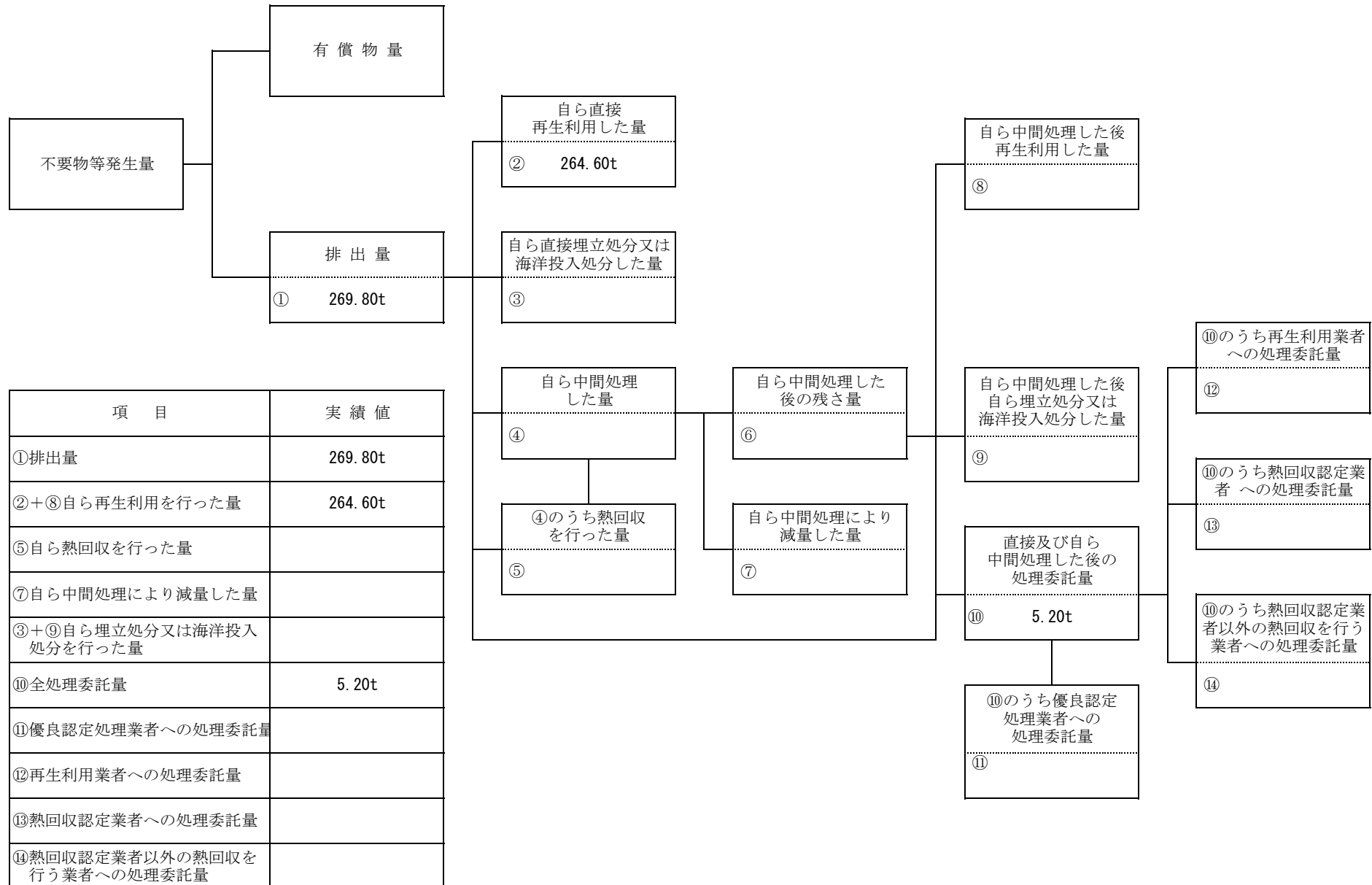
項 目	実 績 値
①排出量	5.10t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	
⑩全処理委託量	5.10t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

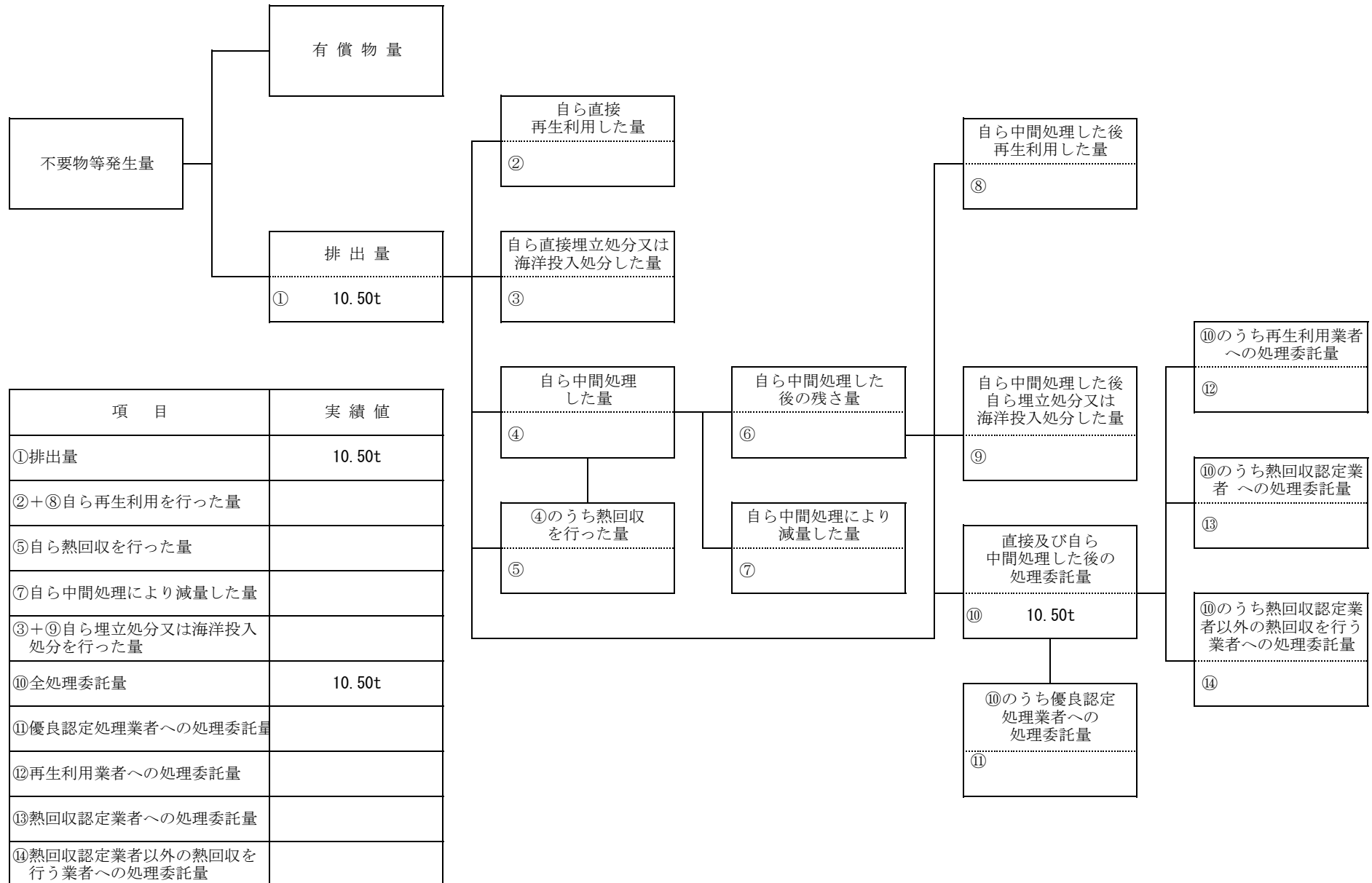
金属くず

)



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む))

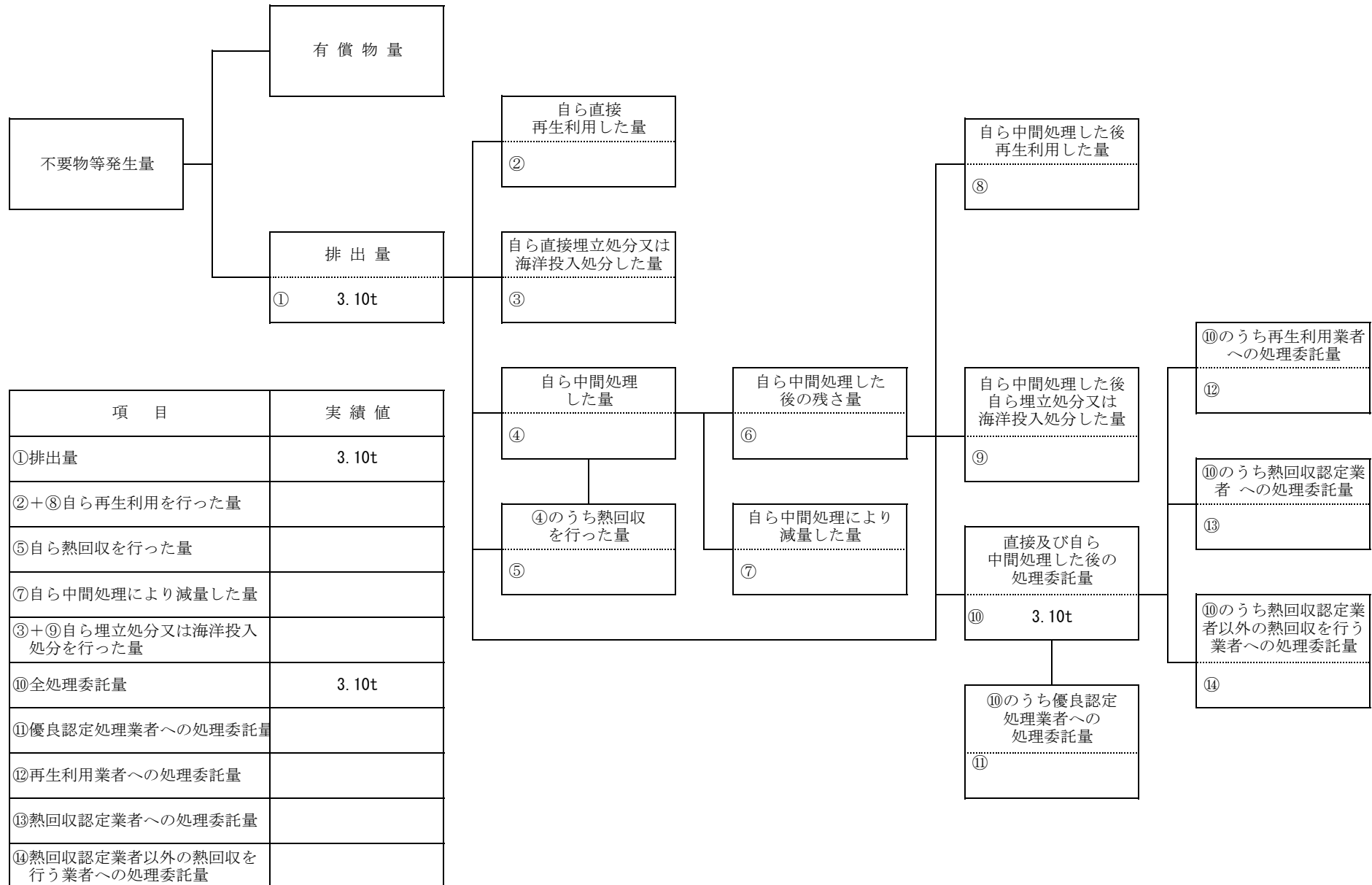


計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



(第 3 面)

備 考

- 1 翌年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第 2 面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第 2 面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が 12 以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第 2 面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。